

横田基地における新型インフルエンザの感染拡大防止
に向けた取組について（要請）

新型インフルエンザに関連してWHO（世界保健機構）は、警戒レベルをこれまでの「フェーズ4」から「フェーズ5」に引き上げたところであります。

横田基地においては、航空機により諸外国との往来が頻繁に行われている中で、人口が密集した首都圏に所在する基地として、周辺住民はウイルスの侵入に強い不安を抱いています。

このため、新型インフルエンザの感染拡大防止に向け、「人、動物及び植物の検疫に関する合同委員会合意（平成8年12月2日）」に基づく、検疫などの具体的な措置を講ずるとともに、航空機による往来者については、成田空港等で実施している体温測定のためのサーモグラフィーによる監視を行い、その結果及び具体的な対策内容を、その都度、速やかに情報提供されるよう強く要請します。

平成21年5月1日

北関東防衛局長 鎌田 昭良
横田防衛事務所長 関 壽夫 } 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長 清水 庄平
昭島市長 北川 穰一
福生市長 加藤 育男
武蔵村山市長 荒井 三男
羽村市長 並木 心
瑞穂町長 石塚 幸右衛門

幹事 武蔵村山市長 荒井 三男